

好評発売中
560円

ウクライナ侵略と

日本共産党の安全保障論

—志位和夫・著—

国の新型コロナ対応臨時交付金などを活用

日田市は6月7日から始まる定例議会に、原油価格や物価高騰対策として、生活困窮者や子育て世帯に対する支援、プレミアム付き商品券の発行による経済対策のほか、新型コロナウイルススワクチンの4回目接種にかかる費用を追加する補正予算を提案します（上の表のとおり）。

補正予算の総額は約6億4千万円で、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用します。今回の補正で市のお金を使うのは、543万円とわずかです。

くらしと平和を守る日田地区連絡会（代表・栗山崇）は3日、市長にコロナ危機と物価高騰から暮らしと営業を守る要望書を手渡します。党市議団は、これに基づき市長の姿勢をただします。

物価対策など6億4千万円

6月議会
補正予算

原油価格や物価高の対策

- 生活困窮者への支援 ～ 1億1,570万円
・住民税非課税世帯に1万3,000円を支給する。
- 子育て世帯への支援 ～ 9,975万円
・低所得の子育て世帯に児童1人5万円を支給する。
- こども園などの給食支援 ～ 1,284万円
・物価高騰による給食材料費の増額分を補助する。
- 学校給食への支援 ～ 1,273万3千円
・物価高騰による給食材料費の増額分を予算化する。
- 畜産飼料価格の高騰への支援 ～ 3,107万円
・畜産農家が購入する配合飼料や粗飼料の増額分を補助する。
- プレミア付き商品券の発行 ～ 2億7,975万円
・消費拡大を図るため、プレミアム付き商品券を発行する。

新型コロナワクチン4回目接種

- 新型コロナワクチン接種事業 ～ 1億3,176万円
・3回目接種から5カ月以上経過する60歳以上の方、および18歳以上で基礎疾患がある方など。

にひそうへい前参議とトーク集会

平和でも暮らしでも声上げれば政治は変わる

にひそうへい前参院議員は5月30日、山下かい県書記長とともにトーク集会「共産党をもっと推したくなる会」に参加し、「声を上げれば政治は変わる」と熱く訴えました。

にひそうへい氏は、「戦争を止めるには」「物価高で暮らしが大変」「年金、給料はどうなる」「相次ぐ水害、どう防ぐ」などの質問に山下かい氏とともに応じました。会場いっぱい聴衆から、大きな拍手が何度も湧き起こりました。

平和の問題では、国連憲章にもとづき平和を築くこと、憲法9条を生かした平和外交を力説。暮らしの問題では、格差と貧困を広げてきたアベノミクスに無反省な岸田自公政治を批判して、政治の転換を訴えました。

山下かい氏は、米軍への思いやり予算の4分の1にすぎない中小企業予算の抜本的拡充と、大企業の内部留保への課税で最低賃金を引き上げてこそ暮らしは守れると強調しました。

にひそうへい氏は、大水害が相次ぐ日田市で日本共産党が住民の声を届けて、河川改修などに力を尽くしてきた実績を示し、「声を上げてこそ、命、暮らしは守れる。比例代表は1票が必ず議席に結びつき、政治を変える力になる。5人の日本共産党比例候補全員の勝利を必ず」と力を込めました。



▶参加者と語り合う（壇上、右から）にひ、山下の両氏（30日アオーゼ）